

会社の概況

(2020年3月31日現在)

商 号	株式会社朝日工業社 ASAHI KOGYOSHA CO.,LTD.
創 業	1925年4月3日
設 立	1940年8月8日
資 本 金	3,857,100千円
代 表 者	代表取締役社長 高須康有
従 業 員 数	972名(連結)、930名(単体)
事 業 内 容	■ 設備工事業 ■ 機器製造販売事業
事 業 所	本社および本店(東京都港区) 大阪支社(大阪市淀川区) 支店8ヶ所、営業所28ヶ所 機器事業部(千葉県船橋市) 技術研究所(千葉県習志野市)
建 設 業 許 可	国土交通大臣許可(特-1)第2822号 管工事業、電気工事業、 機械器具設置工事業、建築工事業 国土交通大臣許可(般-1)第2822号 消防施設工事業

連結子会社

(2020年3月31日現在)

国 内	北海道アサヒ冷熱工事株式会社 旭栄興産株式会社
海 外	亞太朝日股份有限公司 ASAHI ENGINEERING (MALAYSIA) SDN. BHD.

株式の状況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	27,200千株
発行済株式の総数	6,800千株
株主数	2,524名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
朝日工業社共栄会	564	8.83
朝日工業社西日本共栄会	487	7.62
朝日工業社従業員持株会	330	5.17
株式会社みずほ銀行	317	4.96
農林中央金庫	288	4.51
日本生命保険相互会社	250	3.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	212	3.32
高須康有	203	3.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	169	2.66
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	100	1.56

株式の所有者別分布状況

所有者	株主数	保有株式数	保有比率
個人・その他	2,298名	3,913千株	57.54%
金融機関	27名	1,683千株	24.75%
その他法人	111名	820千株	12.06%
外国法人等	72名	368千株	5.41%
金融商品取引業者	16名	16千株	0.24%
計	2,524名	6,800千株	100.00%

株主メモ

■ 事業年度

4月1日～翌年3月31日

■ 定時株主総会

毎年6月

■ 基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要がある場合は予め公告いたします。

■ 株主名簿管理人・特別口座管理機関

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

■ 郵便物送付先

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 電話お問い合わせ先

0120-288-324 (フリーダイヤル)

※土・日・祝日を除く9:00～17:00

■ 特別口座取扱店

みずほ信託銀行株式会社

本店および全国各支店

みずほ証券株式会社

本店および全国各支店

■ 単元株式数

100株

■ 上場金融商品取引所

東京証券取引所(第一部)

証券コード1975

■ 公告方法

電子公告により行います。

http://www.asahikogyosha.co.jp
ただし、やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることが
できない場合には、日本経済新聞に
掲載して行います。

※当社は2016年10月1日をもって、当社
普通株式の単元株式数を1,000株から
100株に変更するとともに、株式併合
(5株を1株に併合)を実施いたしました。
※証券会社に口座をお持ちの場合、未払
配当金の支払および支払明細発行以外
のお手続は、お取引の証券会社にお申
し出ください。
※特別口座では単元未満株式の買取およ
び買増以外の株式売買はできません。



第91期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

株式会社朝日工業社



当期のポイント

受注高 **82,190** 百万円 (前年比 **0.6%** 減)

売上高 **103,964** 百万円 (前年比 **16.8%** 増)

営業利益 **3,661** 百万円 (前年比 **10.7%** 増)

親会社株主に帰属する
当期純利益 **2,319** 百万円 (前年比 **12.3%** 減)



Top Message

トップメッセージ

**スピード感を持ってさまざまな可能性に挑戦し、
変革を着実に加速してまいります。**

代表取締役社長 **高須 康有**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第91期報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当期の事業環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しが続いており、企業収益も底堅く推移し、緩やかな回復基調が続きました。一方、海外経済は、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、中東地域を巡る情勢等、世界経済に与える影響が懸念される中、国内外ともに新型コロナウイルスの感染拡大も加わり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業の環境は、設備工事業業につきましては、政府建設投資は底堅く推移しており、民間の受注環境につきましても、設備投資は堅調に推移いたしました。しかしながら、受注価格競争の厳しさは続いており、施工面においても要員の不足や資機材の高騰などの影響が懸念される中で、採算性と施工体制を重視した事業活動が続きました。精密環境制御機器の製造販売事業につきましては、FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置向け製品は、中国を中心とする設備投資が続いており、受注および生産は堅調に推移いたしました。また、半導体製造装置向け製品につきましても、底堅い半導体需要を背景に堅調に推移いたしました。

また、当連結会計年度は第16次中期経営計画の最終年度に当たり、受注の確保と収益の向上に総力を挙げて取り組んでまいりました。その結果、中期経営計画最終年度の計数目標に対し、受注高は目標値を若干下回りましたが、売上高、営業利益は目標値を上回る成績を上げることができました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失の計上もあり目標値を下回りました。

今後の取組み

当社グループは3ヶ年を計画期間とする第17次中期経営計画(2020年4月～2023年3月)を策定しており、次期連結会計年度は初年度に当たります。第17次中期経営計画は、第16次中期経営計画の成果を受け、現在、当社グループが直面している課題の解決と、先に策定した長期ビジョン「ASAHI-VISION 100」に沿って、将来に向けた基盤づくりに取り組み、持続的な成長と企業価値の向上をさらに推し進めるものであります。また、基本方針として(1)魅力ある会社・職場づくりの推進、(2)利益重視の徹底、(3)将来に向けた経営基盤の強化を定めております。しかしながら、今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況であり、先行き不透明な状況が続くと思われませんが、今後の動向を注視し、中期経営計画で掲げた目標達成に総力をあげて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも特段のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

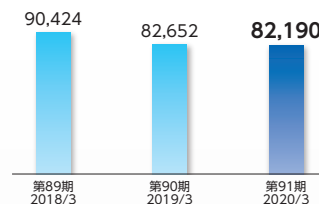
財務情報

財務ハイライト

単位:百万円

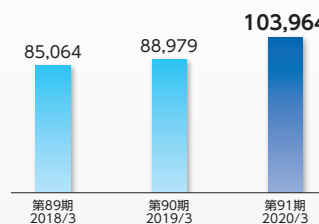
▶ 受注高

82,190百万円



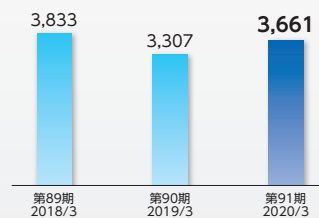
▶ 売上高

103,964百万円



▶ 営業利益

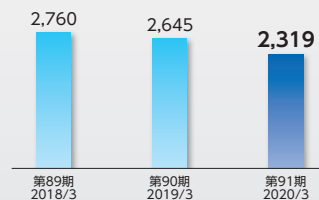
3,661百万円



親会社株主に帰属する

▶ 当期純利益

2,319百万円

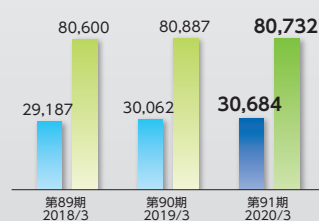


▶ 純資産

30,684百万円

▶ 総資産

80,732百万円



連結財務諸表(要約)

貸借対照表

単位:百万円

	当期末 2020年3月31日現在	前期末 2019年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	61,914	60,853
固定資産	18,817	20,033
有形固定資産	5,873	6,037
無形固定資産	1,180	1,067
投資その他の資産	11,764	12,928
資産合計	80,732	80,887
(負債の部)		
流動負債	47,285	46,223
固定負債	2,762	4,601
負債合計	50,048	50,824
(純資産の部)		
株主資本	27,713	26,208
資本金	3,857	3,857
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	20,878	19,372
自己株式	△ 743	△ 743
その他の包括利益累計額	2,970	3,854
その他有価証券評価差額金	3,435	4,329
為替換算調整勘定	106	101
退職給付に係る調整累計額	△ 571	△ 576
純資産合計	30,684	30,062
負債純資産合計	80,732	80,887

損益計算書

単位:百万円

	当 期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで	前 期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
売上高	103,964	88,979
売上原価	93,663	79,093
売上総利益	10,301	9,886
販売費及び一般管理費	6,639	6,579
営業利益	3,661	3,307
営業外収益	310	427
営業外費用	84	69
経常利益	3,887	3,664
特別利益	17	51
特別損失	672	20
税金等調整前当期純利益	3,232	3,694
法人税、住民税及び事業税	832	1,188
法人税等調整額	80	△ 139
当期純利益	2,319	2,645
親会社株主に帰属する当期純利益	2,319	2,645

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当 期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで	前 期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	8,112	2,008
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 385	△ 808
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,457	△ 1,550
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 8	△ 41
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	6,260	△ 391
現金及び現金同等物の 期首残高	12,736	13,128
現金及び現金同等物の 期末残高	18,997	12,736

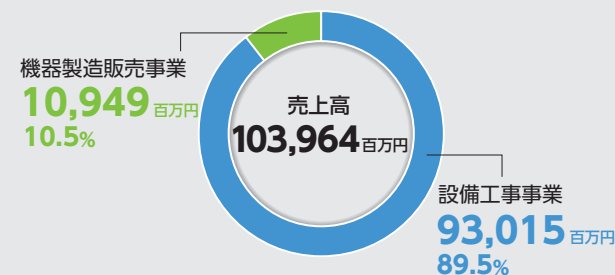
財務の詳しい内容は、当社ウェブサイトからご確認いただけます。

朝日工業社

検索

セグメント情報

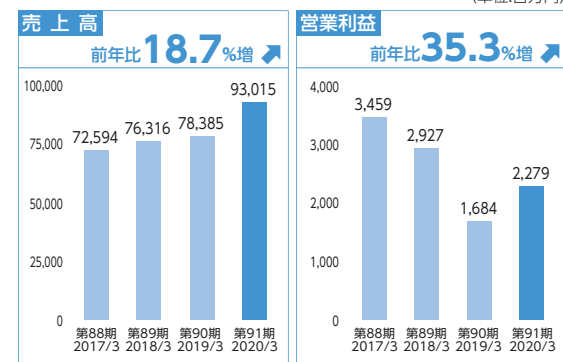
売上高構成比



設備工事業

事業内容：空調調和、給排水衛生、クリーンルーム等の環境整備に関する諸設備の設計、施工および監理

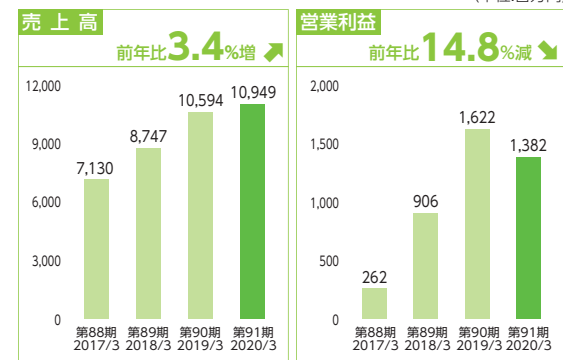
(単位:百万円)



機器製造販売事業

事業内容：半導体および液晶製造装置向け精密環境制御機器の製造販売

(単位:百万円)





SPEED UP - PLAN 17

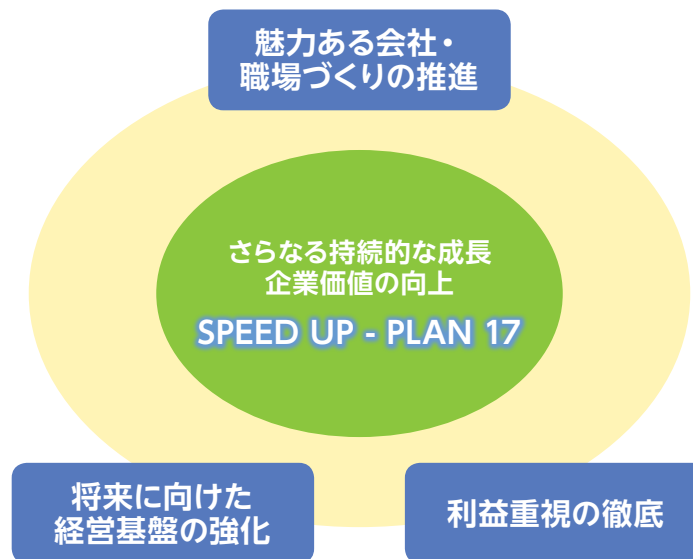
『変革の加速』

長期ビジョン「ASAHI-VISION 100」の2ndステージである第17次中期経営計画(SPEED UP-PLAN 17)をスタートしました！

本中期経営計画では、3つの基本方針に基づく7つの重点項目にスピード感をもって取り組み、現在当社グループが直面している課題の解決と将来に向けた基盤づくりをはじめ、持続的な成長と企業価値のより一層の向上を目指してまいります。

なお、当社ホームページに本中期経営計画の計数計画等を記載している詳細版を掲載しておりますので、是非ご覧ください。(http://www.asahikogyosha.co.jp/)

基本方針

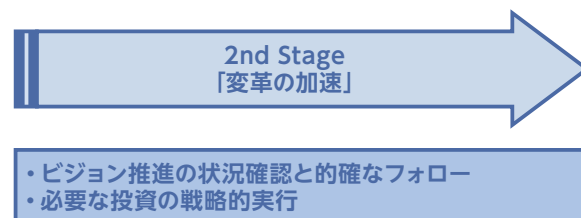
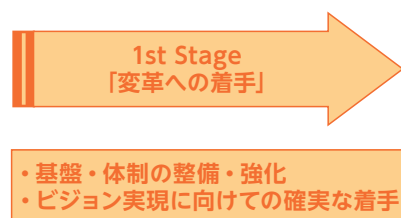


重点項目

1. SDGs経営の推進
2. 戦略的受注活動の推進
3. 技術力・現場力の強化
4. 働き方改革の推進
5. 研究開発力の強化
6. 情報技術の基盤構築と活用
7. 事業領域の拡大

長期ビジョン ASAHI-VISION 100 ～C.C変革への挑戦～

創立100周年
2025年4月



SPEED UP - PLAN 17

第16次中期経営計画
(2017年度～2019年度)

第17次中期経営計画
(2020年度～2022年度)

第18次中期経営計画
(2023年度～2025年度)



当社グループはSDGsを経営の根幹に据え、事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に積極的な貢献を続けてまいります。